

Camerata OFO(カメラータOFO)は、荻窪祝祭管弦楽団有志によるプロジェクトとして、2020年11月より活動を開始しました。荻窪祝祭管弦楽団では取り上げられない小編成の室内楽曲をピックアップし、演奏会毎の募集型室内楽オケとして活動しています。また、モダン楽器を使用しつつも当時の演奏方法／表現を目指すことで、技術向上も狙っています。プログラムは、メンデルスゾーンがヘブリディーズ諸島の光景に靈感を受けて作曲した演奏会用序曲「フィンガルの洞窟」から始まり、モーツァルトの古典派音楽の美の美学を象徴する作品の一つでもあるヴァイオリン協奏曲第4番、メインはハイドンが作曲した古典派交響曲の集大成である交響曲第104番と、時代を遡った演目としています。そして、これらの演目は、指揮者として当団管楽器トレーナーの木下淳平さん、弦楽器トレーナー兼ソリストとしてヴァイオリニスト岩根愛さんをお迎えし、お届けいたします。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

——— 荻窪祝祭管弦楽団 代表 中村健次郎

## Profile



## 木下淳平(指揮)

Junpei KINOSHITA (Conductor)

東京都武蔵野市出身。東京学芸大学教育学部芸術スポーツ文化課程卒業、及び同大学院修了。第37回霧島国際音楽祭、イタリアで開催された「Festival della Piana del Cavaliere」など、各種音楽祭に参加。

これまでにトランペットを班目加奈、井川明彦、杉木峯夫、高橋敦の各氏に師事。

現在フリーランスのトランペット奏者としてオーケストラ・吹奏楽を中心に活動中。また国内のみならず海外オーケストラの客演首席奏者をたびたび務める。



←指揮依頼、指導依頼はこちらから

*Junpei Kinoshita*



## 岩根愛(ヴァイオリン独奏)

Ai IWANE (Violin solo)

桐朋女子高等学校音楽科を卒業し、桐朋学園大学カレッジ・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院へ留学。ブダペストで3年間の留学生活を送る。

帰国後はピアノとの室内楽作品を中心に取り組む。2012年より2018年まで、隔年ごとにデュオリサイタルを開催。川津直子氏と共に、バッハからガーシュウィンまで幅広い作品を採り上げてきた。2021年より、同級生のピアニスト藤田祥子氏と「デュオ・セレレム」を始動。2023年11月に杉並公会堂小ホールで「デュオ・セレレム リサイタル vol.1」を開催し、息の合ったアンサンブルと魅力的なプログラム構成で好評を得る。

近年は荻窪音楽祭との関わりが深く、2018年に荻窪音楽祭第7回春の交流コンサートに出演。2020年には荻窪祝祭管弦楽団第9回定期演奏会にて、シベリウスのヴァイオリン協奏曲を演奏した。2017年よりOgikubo Youth Ensembleで子供たちを指導、コンサートに出演。2022年にはバッハのドッペルコンチェルトのソロも務めた。

現在ソロ、室内楽、オーケストラで活動。後進の指導も行っている。これまでに上西玲子、和波孝禧、カパーシュ・ゲーザの各氏に師事。室内楽を和波孝禧、土屋美寧子の両氏に師事。



←ヴァイオリニスト岩根愛ホームページ

*岩根愛*

## Information

※各演奏会詳細につきましては、各演奏会2ヶ月前頃に荻窪祝祭管弦楽団ホームページで広報いたします。

第38回荻窪音楽祭 荻窪祝祭管弦楽団 第19回定期演奏会  
2025年11月8日(土)13:30開演予定  
杉並公会堂 大ホール

指揮：後藤悠仁  
ヴァイオリン独奏：對馬佳祐  
ハープ：有馬律子

M.ムソルグスキー：交響詩「禿山の一夜」ニ短調  
M.ブルッフ：スコットランド幻想曲 op.46  
L.v.ベートーヴェン：交響曲第3番 変ホ長調 op.55「英雄」

団員募集 | 荻窪祝祭管弦楽団では一緒に演奏する仲間を募集しています。詳しくは当団ホームページをご確認ください。ご応募お待ちしております。 [www.ofo.tokyo](http://www.ofo.tokyo)